

パブリックコメントの実施結果

意見募集期間 : 令和3年10月1日から令和3年10月31日まで(31日間)

意見提出者数 : 14人、1団体

提出意見数 : 37件

提出方法	人 数	団 体	件 数
直接持参	0人	0団体	0件
郵 送	1人	0団体	4件
ファクシミリ	0人	0団体	0件
E-mail	1人	1団体	7件
電子申請	12人	0団体	26件
合 計	14人	1団体	37件

計画の修正 : 提出されたご意見に対する市の考え方は、別紙のとおりであり、今回、ご意見に基づく修正は3ヵ所です。

なお、ご意見につきましても、今後、本計画を推進していく上での参考とさせていただきます。

提出された意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>駅ビル、ポップ街、そごう跡、バスターミナルを含めた一帯開発をすればいいと思います。</p> <p>建物を高層にするのではなく、バスターミナルを二階建てにして周辺地域を雨に濡れずに散策できるようにしたり、屋根付き駐車場を確保するなど、平面でいろいろなお店にアクセスできるようにすることが必要です。エレベーターや階段は上り降りが面倒です。</p>	<p>本計画の関連計画である「徳島駅周辺まちづくり計画」では、人々にとって上質で居心地のよい空間に再編するとともに、都市機能の誘導やオープンスペースの整備、歩行者や公共交通優先の空間づくりを集中的に行うこととしており、徳島駅や徳島中央公園、眉山などへのアクセスがしやすい環境を整えていきたいと考えています。</p> <p>中心市街地の活性化には、官民連携が大切だと考えているため、徳島駅周辺の整備を具体的に検討する際には、今回いただいたご意見も参考にします。</p>
2	<p>J Rにより分断されている駅北へのアクセス道(歩道のみでも可)を設けて一体開発をすべきと考えます。</p>	
3	<p>地下街ができれば雨の日の人出も増え負担も減り、子連れやお年寄りも安心して買い物や食事が楽しめるようになるのではと思います。</p>	
4	<p>商店街や駅前が繋がっておらず、それぞれが点として存在しています。それらの特色を生かし、動線がつながることにより面として機能するようなまちづくりを考えてもらいたいです。</p>	
5	<p>多様な方に集まってもらうために、バリアフリーの視点からアクセスしやすい場所に多目的トイレが必要であると思います。</p>	
6	<p>アウトレットモールや専門店、高級ブランドなどの店舗を誘致してほしいです。</p> <p>ボードウオークの両サイドに店舗を並ばせて、歩いて楽しみながら入店できるように配置すればいいと思います。外国の雰囲気をおもわせるように、ボードウオークのイメージを統一することで高級感のある感じになると思います。</p> <p>歩くだけでテンションがあがるようにすると人が集まると思うので、やるなら大胆に変えるべきです。</p>	<p>本計画に位置づけた「中心市街地出店支援事業」を活用した店舗誘致に取り組んでおり、令和2年度には飲食や服飾、美容など幅広い業種の10店舗が本事業を活用し、アミコビルや周辺商店街など、中心市街地へ出店しました。</p> <p>今年度も本事業などを通じて、魅力ある店舗の出店支援に努めていきます。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
7	<p>コロナ禍の中、集客が見込める主なイベント（栈敷での阿波おどり、はなはるフェスタ、狸まつり、マチ★アソビなど）が相次いで中止になり、来年開催できる保証もない中で、人を集めることは難しいと思います。</p> <p>また新ホールは5年後であり、そごうもなくなった今、郊外に無料駐車場を完備している大型商業施設には太刀打ちができません。</p> <p>西新町やそごう跡地にどのような店舗を誘致しても、駐車場が高いです。バスも1時間に1本程度しかないのに最終便も早く、利用しにくいです。</p> <p>月一で小規模な阿波おどりをしたり、夜にはLEDを利用した花火大会などを開催し、コロナ対策をしっかりとした市内の飲食店と協力して、高知の朝市のように市内全体を利用した取り組みを行うべきです。</p> <p>今までの考えを見直して若い人達の意見を取り上げ、古い箱物ありきの考えを見直してください。</p>	<p>本計画の前提となるまちの将来ビジョンとして「ひょうたん島フィールドテーマパーク構想」を掲げました。</p> <p>これは、中心市街地をこれまでのように「買い物に行く場所」としてではなく、「遊びに行く場所」として捉え直すようとする試みであり、ご意見のとおりイベントなどソフト施策の充実について、官民が連携して取り組みたいと考えています。</p>
8	<p>駅前周辺、東西新町地区等の活性化策を商用施設中心と考えずに、文化スポーツも楽しめる場所と考え、且つメジャーのみならずマイナーなものに光を当て、徳島市だけの独自性を模索するべきです。</p>	
9	<p>有識者に聞くのは最低です。バスに乗ったことのない人達の意見は無駄です。市内に意見箱を設置し、学校、駅、飲食店の利用者など幅広く意見を集めるべきで、このようなホームページや市役所において意見を募集するのは一部の意見しか集まらないので何の参考にもならないと思います。</p> <p>徳島には豊かな食材や自然がいっぱいあります。食材や自然を利用することも良いと思います。いろんなジャンルの人達の意見を聞いてください。1か月など期間が短いと思います。</p>	<p>本計画は、商工会議所、まちづくり会社、民間事業者等で構成する「徳島市中心市街地活性化協議会」の意見を受けながら作成しています。</p> <p>また、市民アンケートの実施や、NPO法人、大学生、商業・観光などの関係者によるワークショップを開催し、まちなかでの取り組みや活動のアイデアについて、意見交換を行うなど、積極的な市民参加の機会を設けてきました。</p> <p>今後も様々な手段で市民の皆さんの意見を聞く機会を設けていきます。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
10	<p>徳島はバスや自動車などが不便なため、すでに車社会になってしまっています。</p> <p>今更交通インフラを整えるより、無料で使用できる駐車場を整備して欲しいです。郊外ショッピングセンターの人気があるのは、この点につきると思います。</p>	<p>無料駐車場の整備については、課題として認識しています。しかし、他に民間駐車場も多くある中での取組みになるため官民のバランスをとりながら連携していきたいと考えています。</p> <p>また、本計画の前提となるまちの将来ビジョンとして「ひょうたん島ワールドテーマパーク構想」を掲げました。</p>
11	<p>徳島市の中心部は駐車場代金がかかるのがネックです。公共交通機関が発達していない、車生活中心の徳島ではまず駐車場代金がかかるところにとりあえず行ってみようとはなりません。</p> <p>またネットショッピングや大型商業施設などで購入できる物がほとんどなので駐車場代金をとられるなら他にいくと思ってしまうと思います。</p>	<p>これは、中心市街地をこれまでのように「買い物に行く場所」としてではなく、「遊びに行く場所」として捉え直すようとする試みです。こういった取組みを通じて飲食や服飾といった小売店以外に、中心市街地の地域資源を活用した体験プログラムなどを提供する店舗を増やし、駐車場代を払ってでも訪れる価値のある中心市街地を目指すことが重要であると考えています。</p>
12	<p>徳島駅前に無料の駐車場があれば、イベントや店舗にもっと人は集まると思います。</p> <p>荷物が多くなる時や子どもが一緒の時など、近くで住んでいても車を使わざるを得ない状況の際に、無料の駐車場がないと訪れるのを躊躇します。近いほど、もったいないので足が遠のきます。</p> <p>今では図書館に行くにもお金がかかりますが、どうにかありませんか。</p>	
13	<p>前基本計画に基づく取組の把握・分析を踏まえて（49ページ以降）、方針を策定する流れですが、計画書を初めから読み始めたとき、3ページにいきなり中心市街地の人口、世帯数とあり、中心市街地の定義、場所、区域の記載が無く、前基本計画で位置づけされた場所のことなのでしょうか。</p>	<p>本計画は、国において定められた「中心市街地活性化基本計画認定申請マニュアル」に沿って作成しなければならないこととされており、項目の並び順などはすべてマニュアルにおいて指定されていることから、このような並びとなっています。</p> <p>なお、中心市街地の区域はあくまでも各期の計画において定められるものであるため、前基本計画に定められた区域とは異なります。</p> <p>今回の計画では、前基本計画における区域を基本に、ひょうたん島川の駅ネットワークの推進を踏まえて、ひょうたん島全域を対象とすることにしました。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
14	<p>東新町アーケードの店舗を安い賃料（もしくは無料）にして、新規のお店が開業しやすくしてほしいです。</p>	<p>東新町アーケード内の店舗は、個々に地主や家主がおり、オーナー側が賃料を決めています。</p> <p>開業をしやすくするための支援としては、店舗改装費の一部を助成する「中心市街地出店支援事業」を実施しており、今後も出店の後押しとなる支援をしていきます。</p>
15	<p>そごうがなくなってしまったのは寂しいですが、何十億も使ってまで新しい商業施設は要りません。それなら更地にした方がいいです。</p> <p>見た目は地味でも住みやすい街を目指すべきです。郊外に次々と大型ショッピングモールができた今、もう駅前はこの以上どうにもなりません。阿波おどりとアニメ、ひょうたん島クルーズ、とくしまマルシェ等、人を確実に集められるイベントをしっかりと立て直して欲しいです。</p>	<p>そごう徳島店が閉店することに伴い、アミコビルへの核テナントの誘致や駅周辺の魅力向上を図るために行ったインターネットアンケート調査及び街頭ヒアリングの結果、「徳島駅前にどんな施設があればいいと思いますか」という問いに対して「百貨店・デパート」と答えた方が一番多く、また中心市街地のさらなる衰退を避けるためにも駅前に商業施設が必要であり、アミコ再生に必要不可欠なものであると考えています。</p> <p>また、本計画の基本方針のひとつに「街を巡りたくなる“動線”づくり」を掲げていることから、徳島の文化を活用したまちを巡るイベントを開催していく予定です。</p>
16	<p>東新町を活性化してほしいです。私が若い頃の徳島市はものすごく街がいきいきしていました。東新町に映画館が5か所もあり、それ以外にもデパートやおモチャ屋などそこへいけば満足できるものがいっぱいあり、休みの日など東新町アーケードは肩がぶつかる程の人混みでした。</p> <p>今では考えられない程の賑わいがあり、それと共に街は駅前のバスターミナルから東新町へとひとのながれができていました。</p> <p>やはり街の顔である東新町商店街を以前のようにしなければ、この徳島は廃れていく一方ですよ。</p>	<p>商店街の振興は、地域の活性化を図るうえにおいても重要であると考えており、商業面の施策はもとより、中心市街地のにぎわいづくりなどを通じ、引き続き商業の振興につなげていくための支援を行っていきたいと考えています。</p> <p>また、東新町は、本計画の対象区域であることから、本計画に位置付けた「商店街活性化支援事業」などを通じ、活性化に向けた取組みを支援していきます。</p>
17	<p>駅を増やすことはやめてほしいです。</p>	<p>新駅の整備については、主体である徳島県の動向を踏まえながら検討していきます。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
18	<p>車が多いことを前提とした道路整備に取り組んでいただきたいと思います。路側帯の雑草がひどく、街路樹は枝葉を伐られて木陰をつくりません。</p> <p>もちろん市民一人一人の心がけも必要だとは思いますが、美しくない街には人は住みたいとも訪れたいとも思わないと思います。</p>	<p>本計画に位置づけた「とくしままちなか花ロード project 花植え会」をNPO法人と共催することで都市緑化の推進等を図ったり、「みちピカ事業」及び「みち花ふれあい運動事業」を実施し、道路の環境美化やマナー啓発活動を行ったりすることで、市民の皆さんとともに清潔で美しいまちづくりを推進しています。</p> <p>これらの活動を通じて、より一層の美化を図っていきます。</p>
19	<p>元町や西新町のさびれ具合は見るに余ります。特に元町は、徳島駅から阿波おどり会館への移動経路となる大通りに面しているため、歩道の整備と共に古くなったビルの解体に補助金を出すなどして、美しい街並みを創り出してほしいと思います。</p>	<p>新町西地区市街地再開発組合から、新たな市街地再開発事業に取り組んでいくとの方針が出されたことから、徳島市も協力していきます。</p> <p>その他の地区においても地権者等の意向なども踏まえつつ、魅力あるまちづくりを進めていきます。</p>
20	<p>西新町には防災拠点となるような設備の整った公園や防災センターなどができるとよいと思います。</p> <p>防災センターは眉山の景観を損なわないぐらいの階数で、以前のようにマンションを高層階に持ってくるような建物はいらないと思います。屋根は芝生を敷いたり屋上緑化にして、周りの自然環境との調和を図ってほしいです。またそのような計画の民間の建物について補助金を出すなどして、街並み整備に取り組んでいただきたいと思います。</p>	
21	<p>文化センター跡における新ホールのデザインに反対です。</p> <p>花びら様の宙に浮いた客席が、規定の耐震基準を満たしていても心理的に不安を感じます。花びらの下の配置になる客席からの眺めも悪いと思います。落ち着いてステージに集中できる無難な設計を希望します。</p>	<p>市民のみならず、県民の皆さんが待ち望む新ホールが、「文化芸術」を発信する拠点としての機能はもちろんのこと、「まちづくり」の核、県都の「ランドマーク」としての役割を体現する、これまでにない「未来志向」のホールとして、県都に誇りある姿を現すことができるよう、県と緊密に連携を図りながら事業を進めているところです。</p>
22	<p>音芸ホールの維持費については後の世代への負担とならないようにしてもらいたいです。</p>	<p>今回いただいたご意見については、徳島県の担当部署と情報共有しながら、徳島ならではの文化芸術の力を結集し、希望あふれる未来を創生できるよう努めていきます。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
23	<p>徳島駅前活性化には、アミコビルの利用促進が不可欠ですが、ビルの空きスペースに新しく「徳島市立公文書館」を新設することを提案します。</p> <p>いずれ将来的に公文書館の設置が課題となるのであれば、今、アミコビルに造ってしまうのが得策ではないでしょうか。</p>	<p>ご提案のありましたアミコビルの利用促進案につきましては、中心市街地活性化のための施策を検討する上で参考とさせていただきます。</p> <p>なお、公文書館につきましては、まず公文書管理に関する本市の基本姿勢を確立する必要があると認識しており、いただいたご意見を踏まえ、今後検討を進めたいと考えています。</p>
24	<p>自動車の運転マナーが悪過ぎます。赤信号や歩行者優先の場所でも無視している車両を毎日見かけます。</p> <p>交通違反が全く取り締まられておらず事故に遭わないか、巻き込まれないか毎日不安です。</p>	<p>自動車の運転マナーに関しましては、警察、交通安全団体等関係機関と連携し、各年代への交通安全教育と交通安全啓発活動等を行い、交通安全思想の普及及び市民の交通安全意識と交通マナーの向上に努めています。</p>
25	<p>徳島はエシカルを推しているならもっとエシカルらしい取組みはできないのでしょうか。</p> <p>ワークショップやマルシェができる土地があるのにもったいないです。</p> <p>オーガニックに関心も向いているので県の特産品で作ったオーガニックな物を売るのもいいと思います。</p>	<p>徳島市では、国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)の理念や視点を反映させた「徳島市総合計画2021」において、17のゴールを施策に関連付けており、当該施策の推進によってSDGsの達成を目指しています。</p> <p>エシカル(倫理的・道徳的)消費は地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のことであり、SDGsに関連する取り組みです。本市では、これまでも「広報とくしま」やホームページ、徳島市消費生活センターが発行している「くらしの広場」に記事を掲載するなど啓発に努めてきました。</p> <p>また、特産品を活用したオーガニックな商品開発などについては、まずは企業において取り組んでいただくこととなりますが、企業等から公民双方の資源を活用することで社会課題の解決に資する提案があれば、本市と連携することでSDGsの達成につなげていきたいと考えています。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
26	<p>子供が安心して遊べる遊び場、情報交換等ができる交流イベントも少ないし、あったとしても告知ができていないです。徳島市内だけでなく他市町村在住者にもわかるよう、もっと呼びかけないと人は来ません。SNS等の呼びかけに力を入れていないし、告知も遅いです。特に忙しく働いている人には前もって知らせないと参加できません。</p>	<p>各種イベントの情報発信については、徳島市の課題として認識していることから、今後はまちづくり会社と連携して、これまで以上に広く知れ渡るような取組みを進めていきたいと考えています。</p>
27	<p>犬猫の殺処分ゼロを狙っている割に力の入れ方が甘いです。地域猫を増やす活動、TNRなどを広める講演会や譲渡会をするなど県や市が一丸とならないといつまでたっても遅れたままです。</p> <p>営利目的でないのなら、頑張っているボランティアや団体に施設の無料貸し出しをするべきです。</p> <p>人が集まって、周りの飲食店等で買い物をしてくれる人がいるなら無料で貸し出ししてもいいと思います。</p>	<p>徳島県が掲げる犬猫の致死処分ゼロ目標に対し、本市も県と協同でパネル展を市役所で開催し啓発に努めています。</p> <p>また、徳島県動物の愛護及び管理に関する条例の趣旨に基づき、「飼い主のいない猫への不妊去勢手術費助成事業」を実施し、不必要な生命の処分を減少させるとともに猫に起因する生活環境被害の減少を図っています。</p> <p>今後も中心市街地活性化につながるような取組みがあれば検討します。</p>
28	<p>敷居や使える用途を広く考えていかないと、デパートや飲食店、洋服屋だけでは今のご時世人は来ないですし、外にながれていきます。</p> <p>あるのなら徳島県産の安心、安全なものを買いたいし、動物にも優しい徳島にするには根本的に利益だけを追い求めるのでは先は見えません。</p> <p>まずは人がどうやったら来てくれるのか、流れを作るにはどうすればいいのかを考えてみてはどうでしょうか。</p>	<p>アミコビルの商圈と来訪者についてビッグデータを用いて分析したところ、コロナ禍の影響やそごう閉店によりメインターゲットであった50歳代の来店が大幅に低下していることがわかりましたが、高松三越のサテライト出店が決まったことにより回復することが期待できます。</p> <p>また、若い世代の来館を促進するため、県青少年センターの機能移転など、商業だけによらない文化やスポーツの機能を付加した多世代交流型施設を目指します。</p>
29	<p>アミコビルについては、商業機能だけではなく、例えば、天狗久資料館や十郎兵衛屋敷を集約するなど、歴史的・文化的な機能を付加してはどうでしょうか。</p>	
30	<p>徳島市の魅力は地産地消できることです。都道府県ランキングだと真ん中辺りだがそう感じます。これをもっと伸ばせる取組みを行えばいいと思います。</p>	<p>地産地消は徳島市でも大切な取組みとして認識していることから、地産地消に向けた継続的な取組みを行う事業者等を対象とした「とくしま新鮮・食の魅力再発見事業」を実施しています。</p> <p>この事業での飲食業者等の取組みを、市のホームページ等を通じて情報発信し、徳島の食材の魅力を多くの方に知ってもらうことにより、今後の地産地消の推進と販路拡大へと繋げていきたいと考えています。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
31	<p>住みたいまちのイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが安心して暮らせるまち ・ずっと住み続けたいと思えるまち ・車がなくても住みよいまち <p>(もう少し電車バスのダイヤを増やしてほしい。)</p>	<p>本計画の基本方針として、「街へ行きたくなる“場面”づくり」「街を巡りたくなる“動線”づくり」「街に住みたくなる“空間”づくり」を掲げています。</p> <p>この3つの方針ごとの目標及びその達成状況を図るための目標指標を設定し、定期的にフォローアップを行うことで確実な事業実施へとつなげていきます。</p>
32	<p>中心市街地を中心と認識していない世代にも集ってもらうためには、働きやすく住みやすいまちにする必要があると思います。</p> <p>また、人が集うための理由や目的が必要であり、例えば高知の仁淀川や大塚国際美術館のような聖地化もひとつの手段ではないでしょうか。</p>	<p>徳島市においての「中心」は、公共交通機関の結節点であるJR徳島駅であり、そこから新たに整備する徳島文化芸術ホール（仮称）、アミコビルをはじめ、商店街や阿波おどり会館などを回遊できる仕組みを構築することが重要だと考えています。</p>
33	<p>せっかくまちづくり会社があるのだから、まちづくりに興味のある人材や専門的な人材を登用してはどうでしょうか。</p>	<p>アミコビルの管理会社として設立された徳島都市開発株式会社は、本計画の策定に向けてより幅広くまちづくりを担うべく、まちづくり会社となりました。</p> <p>まずは小さな実績を積み重ねて、地域の信頼を得ることが重要であると考えていることから、まちづくりの専門人材の登用についても併せて検討していきます。</p>
34	<p>61ページ〔6〕中心市街地の基本方針及び129ページ〔1〕では、キーコンセプトを「ダイバーシティ」と「イノベーション」とし、目指す街の姿を定めていますが、長期ビジョンとして「ひょうたん島フィールドテーマパーク構想」を掲げており、この位置づけ、関連性をもう少し61ページに書き込んだほうが良いと思います。</p>	<p>ご意見を踏まえ、61ページ「中心市街地活性化の方針」に、ひょうたん島フィールドテーマパーク構想の考え方として、商業機能を核とする活性化だけでなく、本市の特性を生かした、徳島らしい、わくわくする体験を充実させる方針を追記するとともに、131ページ「ひょうたん島フィールドテーマパーク構想の推進」に、基本計画との関連性を追記しました。</p> <p>なお、ひょうたん島フィールドテーマパーク構想は中心市街地が目指すべき長期的な方向性として掲げたものであり、そのためにも今回の計画期間である令和4～9年度までの間に、中心市街地で様々な挑戦や投資が生まれる環境を構築することが重要であると認識しています。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
35	68ページ、132ページ バス路線の再編・整理 → バス路線の整理・再編 バス定時制の確保 → バス定時性の確保	ご意見のとおり修正しました。
36	113ページ 高齢者バス無料乗車助成事業 高齢者の足→高齢者の移動手段	ご意見のとおり修正しました。
37	<p>徳島文化芸術ホールの完成に向け徳島市中心部を「音楽の響く街」として認知度を定着させ、県内外からの集客を図るため次の提案をします。なお、いずれのイベントについても徳島市を中心に新聞、テレビ、ラジオ等のメディア、SNSなどで情報を拡散してください。</p> <p>1 野外ストリートピアノイベントの定期開催（眉山山頂）徳島県出身ピアニスト兼YouTuberの石井琢磨さんや米津玄師さん、アンジェラ・アキさんなどの起用も視野に入れたイベントの開催。</p> <p>2 街角ピアノの常設（JR徳島駅、アミコビル）</p> <p>3 ホール完成までの間、徳島市主催の音楽・芸術関連イベントの開催（藍場浜公園、新町川・阿波製紙水際公園、徳島中央公園、あわぎんホール、ふれあい健康館ホール）2、3については、才能を持ちながらも発表の機会が少ない市民や団体を応援することができるので、市内外で活動するアーティストからイベント企画を公募し、採用分については徳島市が助成すべきです。</p>	<p>本計画48ページにあるとおり、市民アンケートの結果、「音楽」に興味がある方が一番多かったことから、「音楽」は中心市街地活性化における重要なコンテンツの一つであると考えています。</p> <p>これまで徳島市では、市民の文化芸術活動の振興を図るため、アーティストを学校等へ派遣するアウトリーチ活動や、市民が鑑賞者ではなく演者として舞台に立つための「歌唱・演劇・ダンス・浄瑠璃」のワークショップの開催などを通じて文化の振興に努めてきました。</p> <p>今後は、いただいた意見も参考にしつつ、イベント主催者等とも連携し、音楽の力を活用した取組みを通じてまちの活性化に繋がりたいと考えています。また、徳島文化芸術ホール（仮称）の整備に伴う機運の醸成も念頭に置きながら市民の文化芸術の更なる振興を図っていきます。</p>